昭和56年２月５日
広報あじす　毎月５日　発行
お知らせ版　毎月20日
山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 4111番㈹・〒754—12
印刷　よしの印刷株式会社

広報あじす

№.350

町の住民登録人口
（56年１月31日現在）　前月比
世帯　2,209世帯　－５
人口　8,368人　０
（男3,920人　女4,448人）
（国勢調査　昭和55年10月１日）
世帯　2,283世帯
人口　8,327人
男3,887人　女4,440人

申告期限は三月十六日まで
〈所得税や贈与税〉

今年も税金の申告時期がやってきました。

贈与税の申告は二月一日から、所得税の確定申告は二月十六日から始まり申告期限はいずれも三月十六日（ことしは十五日が日曜日のため）までです。

そこで、町税務課や山口税務署では申告相談日をもうけて納税相談に応じることにしています。

所得税（国税）の申告をすると町県民税や事業税（県税）の申告も同時に済ませることになります。

所得税は、個人が一年間に得た所得に対してかかる税金です。

〈確定申告の必要な人〉

①事業をしている人や不動産収入のある人、土地や建物を売った人などで、五十五年中の所得の合計額が、基礎控除、配偶者控除、扶養控除などの所得控除額より多い人

②サラリーマンで給与の年収が一千万円を超える人や、給与以外の所得が二十万円を超える人などです。

前年に確定申告をした人は、山口税務署から申告用紙などが送られていますので、必ずその用紙で申告しましょう。

〈確定申告に必要な書類〉

①税務署から申告書が送られている人はその「申告書」

②給与などのある人は「源泉徴収票」

③雑損控除を受ける人は「被害を受けた住宅家財の明細書」

④医療費控除を受ける人は「支払った医療費の領収・明細書」

⑤生命保険料控除のある人は「保険料が一契約九千円を超えるものの証明書」

⑥損害保険料控除のある人は「支払保険料の証明書」

⑦住宅取得控除を受ける人は「登記簿謄本」「住民票の写し」「売買契約書」「住宅取得に係る融資額の償還金額等証明書」です。

相談には必ず印鑑をもっていきましょう。

〈贈与を受けたら申告を〉

個人から財産をもらったときには贈与税がかかります。基礎控除が六十万円ですから、申告をしなければならない人は昨年中に贈与を受けた財産が六十万円を超える人ということになります。

贈与税の申告の際には、申告書に①贈与の日から十日を過ぎてから作成された戸籍謄本と附票の写し②贈与を受けた土地家屋の登記簿謄本③贈与を受けた家屋に入居後、作成された住民票の写しを添付することになっています。

各地区の申告相談日
必ず印鑑持参で

申告相談の日程は次のとおりです。

日	地区
2月	
18日（水）・19日（木）	引野・仙在・青畑
20日（金）・21日（土）	向井関・源河
23日（月）	井関・野口
24日（火）	杖川・河内
25日（水）・26日（木）	税務署・税理士会無料相談日
27日（金）・28日（土）	浜表・赤迫
3月	
2日（月）・3日（火）	旦全区・岡
4日（水）・5日（木）	岩倉全区
6日（金）	北祝・南祝
7日（土）	浜
9日（月）・10日（火）	飛石・沖の原 砂郷全区・寺河内
11日（水）・12日（木）	小古郷全区・前山 東条全区・中村 繩田全区・西条
13日（金）・14日（土）・16日（月）	指定日に申告できなかった人

会場は町役場二階会議室。時間は平日は午前九時から午後四時まで、土曜日は午前九時から十一時半までです。印鑑を持ってお出かけください。

健康度に合わせて生活を
おとしよりの健康診査

町では老人福祉法に基づいて、昨年九月二十五日から十月二十四日までの一か月間にわたって町内全域の六十五歳以上のおとしよりを対象に行った老人健康診査の結果をまとめました。これは町内の二つの病院と二つの医院に委託し、主に循環器系について診査したものです。

対象者は千百三十六人で、そのうち病気療養中の人を除いて、受診者は三百七十一人で受診率は三二・七%、町内のおとしよりの約三分の一が受診されたことになります。

その結果、一般診査では

正常	七七人	二〇・八%
精密検査	二三三人	六二・八%
療養が必要	六一人	一六・四%

となり、約八割が何らかの症状があるとのことでした。

さらに精密検査を要する人について検査の結果、正常二十人、再検査が必要な人七人、療養を要する人二百六人という数字が出ました。

最初の診査と精密検査で療養を要するといわれた人は二百六十七人で、このうち病名が一つの人は百二十五人、二つが百二十三人、三つが十七人、四つが二人で、病名の延べ件数は四百三十件、つまり一人が一・六の病名をもっていることになります。

病類別を延べ件数でみると

①高血圧性疾患一四六件（三四%）②心疾患八八（二〇・五）③胃・十二指腸潰瘍・胃腸炎四〇（九・三）④神経痛・神経炎三五（八・一）⑤気管支炎・ぜんそく三〇（七）⑥血液疾患一九（四・四）⑦糖尿病一七（三・九）⑧胸血管疾患一四（三・三）⑨腎炎一二（二・八）⑩肝疾患八（一・九）⑪関節炎・リューマチ四（〇・九）⑫その他一七件（三・九%）

半分以上が成人病です。

町では、これを参考に今後、老人の健康指導を進めていきますが自分の身体の状態を見極め、病気の場合は医師の適切な指導のもとで健康管理をしていくことが大切といえましょう。

功績章など贈る
新春の消防出初式

ことしの消防出初式は五日午前八時二十分のサイレンを合図に市中行進、九時から役場前広場で式典が行われました。式では永年献身的な活動をした消防団員に対しての表彰があり、県消防協会長から功績章や勤続章が、町長から精勤章がそれぞれ贈られました。

式後、消防自動車や可搬ポンプの模範操法があり、団員がきびきびした動作で、消防長（町長）の観閲を受けました。

また、多数の町民が見守る中、寒風をついての鈴割り競技や五色放水もあり、三つの分団員（六十八人）が日頃のたゆまない訓練の成果を発揮して水の競演を披露しました。

受章者は次のとおり（敬称略）

〔山口県消防協会長表彰〕

☆功績章　岩本利夫　伊藤信一

☆勤続章　田辺保雄　井本知　辻下節雄（以上三十五年）林正之　伊藤信一　古川良雄（以上二十五年）福本一平（二十年）西田祐治　長久寛（以上十五年）

〔阿知須町長表彰〕

☆精勤章　中本治人　田中幸夫　長久寛　西田祐治

（写真は放水する消防団員）

お知らせ

事前に確認を
10㎡以上の建物

最近、建築確認申請手続を受けずに建物を建築される人がふえています。

都市計画区域内（町内全域）では十平方メートル（三坪）以上の建物の新築、増築、改築等の建築をする場合には、あらかじめその計画が建築物の敷地・構造等、法律の規定する基準（最低基準）に適合しているかどうか県知事の確認を受けねばなりません。もし、不法建築の場合は撤去させられますので、必ず事前に確認を受けましょう。

申請の手続きについては町施設課都市計画係にご相談ください。

塩月弥栄子さんの講演会
12日公民館で「気ばたらきのすすめ」

茶道家・塩月弥栄子さんの講演会が二月十二日（木）午後一時半から町公民館で開かれます。

主催は町商工会ですが、町内一般の人にも一人でも多く聴講してほしいと望んでいます。入場無料です。演題は「気ばたらきのすすめ」。

塩月さんは裏千家家元・千宗室氏の実姉。作法について造詣が深く、「冠婚葬祭シリーズ」「塩月マナー教室」などの著書も多く、講演、著作でも活躍中です。

二十二日に大会
第一回バドミントン

町バドミントン同好会では二月二十二日（日）午前九時から阿中体育館で第一回の町内親ぼくバドミントン大会を開きます。

参加者は町内在住か在勤者で地区、団体、職場等で編成した一チーム三ダブルス（六人）。そのうち一ダブルスは男女混成。

参加料は一チーム千八百円。

申込みは二月十四日までにスポーツ・アトラス（浜・電話四四四一番）へ。

柔・剣道は十五日

町体育協会主催の第九回町内柔剣道大会は二月十五日（日）午前九時から阿小講堂で開かれます。

柔・剣道ともに一チーム三人（二人でも可）で個人戦は一般と小中学生を対象。

試合は団体、個人戦ともにトーナメント方式。

参加資格は住民登録をしている町内在住者で、中・高校生が一般の部で出場することもできます。

参加申込みは、二月十日（火）までに町体協事務局（公民館内）へ。

ぼくの学校わたしの学校

〔阿知須小〕

日	行事
10日	全校集会
12日	体重測定（一年）
13日	〃（二年）
14日	〃（三年）
16日	〃（四年）・貯金日
17日	〃（五年）・参観日
18日	〃（六年）
20日	新入学児仮入学
24日	全校集会
26日	血液型検査（一年）
3月5日	集金日（給食費）

〔井関小〕

日	行事
7日	卒業生を送る会
10日	体重測定（全学年）
14日	ふるさと学習
17日	参観日
25日	貯金日
3月6日	なわとび大会

〔阿知須中〕

日	行事
7日	ふるさと学習・集金日
12日	香川・宇部女子・宇部鴻城・野田高校入試日
13日	中村・山口鴻城高校入試日

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

◇香典返し▽八万円＝松代実さん（砂一）は父一郎さんの▽三万円＝徳永仁さん（岩西前）は父久夫さんの、徳本義夫さん（恵比須）は母ミキヲさんの、松原勇次さん（旦西）は母カメさんの、田辺健一さん（岩西）は母伊藤菊枝さんの、叶谷キクエさん（中村）は夫敏助さんの▽二万円＝辻野タケノさん（浜表）は夫平馬さんの▽一万円＝高田マツエさん（河内）は夫宇津巻勇さんの◇

◇篤志▽八千円＝阿中生徒会は文化祭収益金の全部を

〔町へ〕

◇広報紙送料▽一万円＝中野利紀（堺市鳳中町）・中野俊治（愛知県知多郡阿久比町宮津）・中野浩甫さん（東京都板橋区徳丸＝いずれも浜区出身）ら兄弟三人。江本昇さん（繩南）▽二千円＝田中辰雄さん（静岡県御殿場市川島田・浜区出身）田辺健一さん（呉市本町二十二ー十・岩西区出身）

◇篤志▽三千円＝村中サキさん（横浜市西区戸部町・小南区出身）

◆本紙を雑誌型に◆

広報あじすを来月（三五一号）からA４版（雑誌型）に改めページ数もふやします。親しみやすく充実したものをめざしますので、相変らずのご愛読をお願いします。

２月のメモ

日	行事
10日	育児相談（後１時半）
13日	交通事故相談（前10時）
17日	１歳６か月児健康診査（後１時半） 三種混合（後２時半）
19日	心配ごと相談（前10時）

（会場の記入のないのは役場）

公民館メモ

日	行事
10日	婦人学級（前９時半）
12日	塩月弥栄子講演会（後１時半）
13日	洋裁教室（前10時）
15日	町内柔剣道大会（前９時・阿小）
17日	料理教室（前９時半）
18日	保存食教室（後１時半） ペン習字教室（後２時）
20日	洋裁教室（前10時）
22日	町内バドミントン大会（前９時・阿中）

今月の納税

○固定資産税
○国民健康保険税

あじす運動　(あ)「あいさつ」をしよう　(じ)「じかん」を守ろう　(す)「スポーツ」にはげもう

みんなで交通安全宣言
成人式の出席者は八二・九%

本町の成人式は一月十五日、町公民館で行われました。昭和三十六年四月二日から翌年四月一日までの出生者百五人のうち出席は男子三十五人、女子五十二人の計八十七人で出席率は八二・九%。

まず三好町長が「大きな夢をもとう。人生の夢はいろいろの困難にもめげずこれを乗り越えて行く原動力となり、未経験の問題を解決して行く意欲につながるものである。みなさんの中にはすでに実社会で活躍されている人、まだ学業についておられる人、とその立場こそ違え、もうすぐ社会の一員として立派な成人となられるのでこの輝しい門出にあたり、ますます努力して知性を磨き、身体を鍛錬し、優秀な若人として社会のために貢献してほしい。」と式辞を述べたあと、福岡町議会議長（長久副議長代読）の祝辞や、小川隆広君（阿中一年）の先輩へのことばが寄せられました。ついで、成人者代表として山崎栄さん（井関）が記念植樹目録を町長に贈呈、深野芽美さんが「背のびをしないで、多くの試練を乗り越え一歩一歩立派な大人に成長してゆきたい。また、自分を見失わず、社会の一員として責任のある行動をしたい。」と成人となった決意を述べ、米中郁雄君（東）が交通安全宣言決議文を読みあげ、成人者全員が交通安全を誓いました。

式のあとは松本征夫氏（山口大学理学部教授）の記念講演「南極大陸の自然」があり、全員で記念撮影。昼食時には青年団主催のパーティー、そのあとのお茶会は大盛況でした。

これに先立って受付けでは、来年以降の成人式に反映させるため成人式に対するアンケートを実施しました。

四五%が“わたしたちも企画・立案に参加したい”
成人者のアンケート

町教育委員会が実施した成人式のアンケートは、参加者八十七人、アンケート提出者七十九人で回収率は九〇・九%。質問は成人式の実施など七問でした。

〈成人式についての考え〉

人生の区切りとして意義がある	六五・九%
あまり意義がない	二九・一
意義がない	二・五
その他	二・五

で、意義があると考えた人が六割強でした。

〈成人式の対象者について〉

今年どおり学年制を（大半が満十九歳、残りが満十八歳）	五五・七%
今年より一年遅らせる（大半が満二十歳、残りが満十九歳）	四四・三

今年どおりというのが若干多くなっています。

〈成人式の開催日について〉

一月十五日	六八・四%
正月三が日	二〇・二
夏（お盆）がよい	八・九
いつでもよい	二・五

で、一月十五日という回答は「祝日だから」というのが一番多く、夏がよいというのは「服装が簡単でよい」という答えが殆んどでした。

〈開始時間について〉

午前がよい	五〇・六%
午後がよい	三二・九
どちらでもよい	一六・五

〈成人式の実施について〉

町教育委員会が企画立案し、青年団とともに実施する＝今までどおり	五四・四%
成人該当者・青年団・町教育委員会が協力して実施する	二九・一
成人該当者が自主的に企画立案し実施する	一六・五

つまり、成人者の四五・六%は成人式の企画立案に自分たちも参加したいという希望を持っています。

〈記念行事は何が良いか〉

パーティ・茶話会	一八・六%
レコードコンサート・音楽会	一八・一
映画会	一六・二
講演	八・一
コーラス・ダンス	八・一
旅行・見学	六・六
植樹・植林	五・九
体育・レクリエーション	四・四
健康診断・献血	四・一

などの順で、以下意見・体験発表、座談会・討論会、青年団体活動の紹介、その他、社会奉仕活動の順となっています。

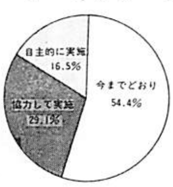
〈記念品は何がよいか〉

アルバム	三一・六%
記念写真	二三・九
装飾品	一五・三
かがみ	七・二
文具類	五・三
成人手帳等	三・八
焼物	三・八
苗木	二・四
書籍類	二・四
辞典類	一・九
その他	一・四
日用品	一・〇

で、上位三つで七〇・八%を占め、あとはそれぞれに意見が分れています。

その他、成人式に対する意見は“私服でやりたい”、“一年早いような気がする”、“全員参加になるよう出席を奨励してほしい”などの意見がありました。

成人式の企画・立案は



ハッ！としてブレーキ
ナイトポリスが威力

夜間の交通安全を願って町内の四か所にナイト・ポリスが立ち、通りがかりのドライバーに思わずブレーキを踏ませています。

ナイト・ポリスは警察官が夜間の交通指導に立っているように見せかける交通標識。昼間は交通安全の看板の役目をしているが、夜になると夜光塗料が自動車のライトで浮き上り、遠くからだと運転者には警察官にみえ、スピードを出しているときなど「ハッ」としてブレーキを「ギュ！」。

現在、県道善和阿知須線に町が二つ、国道に小郡交通安全協会阿知須支部が二つ設置していますが時々移動するので、ナイト・ポリスと思っていても本物のポリス・マンに出くわすこともあります。

したがって、いつでも交通安全に心がけてほしいと設置者の願いは切です。（写真はナイト・ポリス）

駅通り線は
今年度で完了

町が昭和四十年度から進めてきた阿知須駅通りの都市計画街路事業もいよいよ大づめ。この三月までには全部完成をめざして最後の工事が進められています。

駅通り線は阿知須駅から干拓入口まで全長七百五十一㍍、幅員十六㍍（うち車道一二㍍）で、このうち駅寄り約百㍍が未完了ですが今年度三戸の部分的用地買収と建物補償を終っておりあと歩道、側溝、舗装工事を終えれば完成です。

この道路の着工から完成までの総事業費は五億六千八百万円にのぼります。

なお、都市計画街路事業としては他に縦貫線（干拓―飛石間。幅員一六㍍）を施工中で、これは今後も進められます。（写真は側溝工事）

こんにちわ

成人者代表として
決意を述べた
深野芽美さん
小古郷西区・学生

一月十五日公民館で行われた成人式で成人者代表として謝辞を述べた。

「二月生まれの満十八歳なので実感がわかないんです。でも、これを機会に、今までのような親に頼る甘えの気持をやめて、自分自身をしっかり見つめ、行動に責任を持てるようになりたい。」とは成人式に出席しての感想。

現在は経理専門学校の学生として勉強するかたわら、町青年団にも加わり青年団活動をしている。ハキハキして、明朗活潑、時には冗談もいうとは友人の芽美さん評。

今、何をしたいかとの問いには「具体的にはないけれども、今まで以上に一生懸命になんでもやってみたい。」と一生懸命な阿知須のピチピチギャルである。家は小古郷西区。両親と弟二人、祖母の六人家族。

これからの抱負は「現在、専門学校に行っているので、いろいろな免許を取っていきたいと思っています。でも、早くかわいいお嫁さんになりたい気持もあります。」とのことで、お嫁さんの方に力がこもっていた。

◇・◇・◇・◇

来年は増収五トン
ナマコなどの住み家づくり

ナマコやサザエの繁殖をめざして、町ではこのほど阿知須沖に石のアパートをつくりました。

これは漁業振興のため四十六年から継続的に実施している事業の一つで、ことしが八回目。これまではコンクリートブロックを主として魚類の養殖をはかってきましたが、今回はナマコやサザエ類をねらったもの。

場所は干拓沖の“じいばあ石”付近水深六メートルのところ。大小さまざまな花崗岩や蛇紋岩二千九十六立方メートルを沈めました。ここに人工の岩場ができ、魚介類のアパートとなりました。来年には約五トンの水揚げ増が見込まれています。

＝＝＝＝＝＝＝
ふれ合い深める
引野地区文化展

引野公民館でこのほど引野地区の人々による文化展が開かれました。盆栽、手芸、絵画、書道、生花など百点近い作品が展示されましたが、この催しはこれで四年目とのこと。行政区域内だけの行事としては町内でここだけ。「まああの人がこんなことを…」「ことしは一段と上達しちょって…」などふれ合いを深めるのに大いに役立っているようです。

（写真は作品の展示会場）

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

旦東　木原百合雄
はるばると訪ねきたりし黒部にて立山かくす雲のうらめし

河内　師井　泰枝
水平線に太陽沈む伊勢路にて残照しばしゆるる海の面

浜　正司ウメノ
初成りと賜ひ供えし冬苺好みいたりし夫は今亡し

南祝　長谷川さつき
爪みがきビーズの指輪さしくれる孫のぬくもり小指に光る

小西　平海アサノ
救急車の音きく度に心いたむ今朝もきこゆるバイパス沿いに

小西　藤重アヤ子
初雪に肩をすぼめて軒下を通れば屋根より音たてて落ちる

砂三　桜井　文子
期限日に仕立て上げたる夕の炊事庖丁持つ手に震え残りて

北祝　原田　双恵
正月にいとこ等来り幼孫顔かがやかせ部屋をこ走しる

飛石　砂村ヤス子
雑煮食う湯気の向ふに母の顔兄の顔ありし我が幼き日

小東　松尾　君代
夜なべする吾に酒粕焼きくれし亡き母思ひぬ酒粕見れば

旦北　益弘　吾一
桃一町柿一町作る友伍一雨降れば一升携げ話しに来りぬ

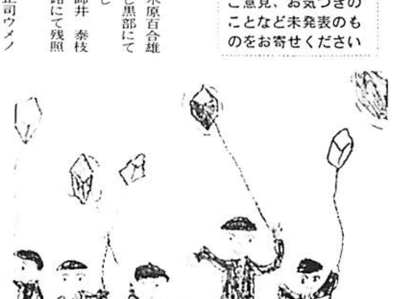
砂三　渡辺　宮子
参道の樟の木下に体のべし老いたる鹿の目の色寂か

岩西　中本　幸枝
元日の午後は安らぐ一人居にテレビを見つつ今年の計練る

源河　村井　薫
腰の曲がりし母に寄り添ひ風呂に入る父の外せし補聴器が鳴る

源河　三吉　琴
夜々の身をおしひしぐ厚衾春になるまであと百二十日

砂一　松代　二郎
人の自由認めあじわい老われの命あるまでつとめむねがい



「たこあげ」
岩倉保育園
まきの　なおゆき（6歳）

慶弔録

婚　姻（おしあわせに）

氏名	旧姓	住所
野村　仁		宇部市
ひとみ	（西中）	砂二
石川丈夫		北祝
昌子	（中村）	石川県金沢市
河野貞美		横浜市
妙子	（伊藤）	飛石

出　生（おすこやかに）

親の名	続柄	子の名	月日	部落
佐藤勝治	長女	由紀江	12・21	岩上
重村　宏	三男	慶太郎	12・23	旦北
中尾　博	長女	ゆき	12・29	小西
片山孝純	長女	茜	1・13	河内
香川　正	長男	正弘	1・15	前山
吉野喜代博	長女	由美子	1・16	砂三
中野悦三	長男	秀俊	1・16	杖川
浜中明尚	長男	裕史	1・17	小西
矢次邦夫	長女	雅美	1・18	飛石
咲花安雄	長男	俊晴	1・20	浜
高井昭博	三女	智佳	1・27	岩西前

死　亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年齢	部落
伊藤　菊枝	1・1	64	岩西
山本儀太郎	1・7	53	河内
古谷　軍一	1・8	83	飛石
戎谷　一郎	1・15	71	浜表
前野　義雄	1・18	33	飛石
徳田　クニ	1・18	90	白松苑
伊東　隆一	1・21	76	旦東
福富　勇	1・23	58	縄南
浜谷　安市	1・30	79	小南